

令和六年度総会

令和六年五月一七日、当校区の令和六年度の総会が、光貞市民センターの講堂で開かれました。令和五年度事業報告、同会計報告、同監査、及び、令和六年度の役員、同事業計画、同予算を審議して原案通り承認されました。役員一同、令和六年度の事業計画及び予算の執行について、地域福祉のさらなる充実・発展を目指して実施及び執行に当たりたいと思います。皆様のご支援・ご協力をお願いします。

なお、総会資料をご入用の方は光貞市民センター（電話〇九三六九二一九四九六）までご連絡ください。

（前田 孝夫）

民生委員・児童委員になって思うこと

本城西大平自治区会長

篠原 廣一郎



私は本城西大平自治区会の区会長をしています。令和四年二月一日、光貞台一丁目一番、二番のUR住宅担当の民生委員になりました。前任者が体調をくずして退任したためです。UR住宅は当時、町内会を解散しており、後任者をさんざん探しましたが、適任者が見つからず、自治区会長としてやむなくピンチヒッターのつもりで引き受けました。

民生委員になって驚いたことは、UR住宅の高齢者の多さです。確かに、南向きで日当たりは良く、スーパ、銀行、病院は近いし生活の利便性は抜群。月に一回八幡西区社会福祉協議会発行の手ラシ「お元氣ですか」を届けています。

民生委員は地域における身近な相談相手。民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、無報酬ボランティアとして活動しています。「お元氣ですか」を届けたとき、インターフォン越しの会話しかしてくれない人もいますが、なかには待ちかねたように玄関ドアを開けて、長時間、自身の昔話に花を咲かせる人もいます。そういう時は、つくづく民生委員になって良かったなと思います。私は今年七五歳になります。民生委員の定年は原則七五歳未満、最近は民生委員のなり手が減少し、定年後、一期・三年延長できるようになりまして。今から私の後任者探しに心配です。



民生委員
児童委員



「挨拶
二・六・二の原則」のお話

光貞校区社会福祉協議会

会長 前田 孝夫



地域の皆様には、常口頃より、校区社協の活動にご支援・ご協力を賜りまして、感謝申し上げます。私は以前、仕事上の人間関係で悩んだことがありました。その時、誰かだったか忘れましたが、「二・六・二」のお話を聞きました。蟻を見てみると、一生懸命働いているのは二割、全く働かないのが二割、残りの六割は適当に働き適当に怠けているのか。そこで、一生懸命働いている蟻だけを集めても同じように二・六・二に分かれるということでした。

私たちが仕事をするときも、同じ割合になり、協力的な人は一割、非協力的な人は二割、そして六割は、どっちに付くか迷いながら適当な態度をとる人達だそう。仕事を成功させるためには、あいまいな態度をとる六割の人にやる気を持たせることだと言っていました。全員にやる気を持たせようと思わないことだそう。

このことは、一定期間の自分の行動にも当てはまるような気がします。ある期間のうち二割くらいは、自然とやる気が起こり何でもやりたくなる日があり、六割くらいは、その日の気の持ちよう、やる気が起こったり、やる気がなくなったり、本人のやる気で左右される日であり、後の二割は、どんなに頑張ってもやる気そのものが全く起こらない日です。バイオリズムというのかどうか知りませんが、やる気が全く起こらない時は無理をせず、思い切り休養することかなと、そして、大切なのは、六割の気持の持ちようが変わる日に、いかにモチベーションを高め地域活動をするかということではないかと思っています。

令和六年度も校区社協の会長として、地域のお世話をすることになりました。私の勝手な理論「二・六・二」が正しいかどうか知りませんが、そして、やる気の全くない日もあるかも知れませんが、よろしくお願ひします。

健康ウォーキング大会

高塔山紫陽花まつりに参加して

年長者クラブ藤原会会長

武内 紘



山頂での集合写真

六月八日（土）薄曇、風を少し感じる。雨の心配はなさそう。二九名の老若男女で先ずは本城駅を目指す。この道中もそこそこあります。若松線は駅員がいらない。これでサイビスや安全がなりたつのかと思ってしまう。

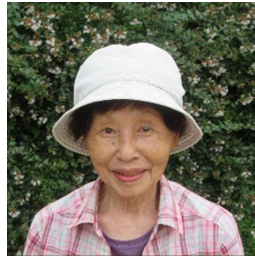
若松駅から山の入り口佐藤公園へ。ここから暫らく大曲の手前を右あじさいロードへ。樹林の中、山歩きらしくなりやがて色んなあじさいが姿を見せ、すっかり自己主張するまに山頂へ。

ウグイスの声に包まれて気持ちよくおしゃべりしながら賑やかに、いつものまに山頂へ。むやみな快晴より本日の様子がいい。東は関門橋から西は島の島まで三六〇度の展望を一時満喫。響灘方面では洋上風力発電計画がすむ様子が見える。下りも山道をとって高野山東南院から河伯洞、そしてブラタモリで紹介された洋館付加住宅へと昭和の面影満点の雰囲気も味わえた健康ウォーキングでした。もちろん皆さん無事完歩でメデタシメデタシ！

地域の元気な高齢者

本城西大平の緒方孝子さん（八五歳）

今回は本城西大平地区で福祉協力員をしている、緒方孝子さんを紹介します。



〇ここに越してこられたのは

ご本人が三七歳の時、ご主人が三六歳、お子さんはご長女が小学校一年、ご長男が幼稚園の時、ご主人の勤務の関係で北九州市から県外に出たそうですが、ご主人が六〇歳の定年になり、長い社宅生活を済ませて、二〇〇〇年一月に現在の医生ヶ丘に住み、今年で二四年目だそうです。現在八五歳とのこと。

それからは、市民センターで七五歳ぐらいまで食事作り、ケーキ作りなどをして楽しんでのことです。

〇地域活動とのかかわり

一八年前に、前任の福祉協力員さんから、会計を受け継ぎ、最初は何も分からなかったが、周りの人に助けられ、どうにかやって来られ、あっといふ間でしたとのこと。

地域活動での喜びは、医生ヶ丘公園内の事務所で「大平夢サロン」が行われていますが、そして、そこは、一六人でいっばいになる狭い部屋ですが、参加者が、「ここが大好きだよ」と言ってくれる声を聞くたびに、ご本人自身も幸せを感じるとのことでした。

ご本人は、体力の衰えは感じることもありますが、訪問活動では、お手紙をもって尋ねたとき、皆様の笑顔に接すると、元気を頂いて、もう少し頑張れる気がするとのことでした。

〇元気の源

春は桜、つつじ、藤の花、花壇には、四季の花、皆で手入れをし、朝は、ラジオ体操から始まり、センター主催の健康づくり体操と散歩クラブに参加をして、健康維持に努めているとのことでした。

〇これからの若い人に伝えたいこと
社宅生活をしていたころ、社宅の仲間に美術館巡りを誘われたが、最初の頃は付き合ひ程度の気持ちで参加したそうです。参加している、絵を描いてみようと思つたようになり、絵手紙を書いたそうです。書いて二八年目になるそうです。下手だと謙遜していますが、続けていると、不思議なもので、結構、描けるようになり、楽しみになるとのことで、何でも継続は力ですとのこと。

いつもお元気で笑顔の緒方さん、いつまでも福祉協力員を続けてください。
(篠原 廣一郎)

新福祉協力員の紹介

光貞台では、ここ最近、高齢化で退任するものや死亡により、福祉協力員の数が、平成二二年度に比べ半数になってしまったので、以前、福祉協力員をしていて辞めた方に復活をお願いしたところ、快く引き受けていただけ、また、二人にも声掛けをしていただき、令和五年度は三名の方が、福祉協力員になられたので、抱負などをお聞きしました。

光貞台地区福祉協力員

梅村 智和子



私は出戻り娘にあらず婆さんです。数年前に夫の介護のために福祉協力員を辞めました。その後、福祉協力員の誘いを受けました。夫も亡くなり、時間もありません。活動が好きでしたのでお引き受けしました。

年長者とのふれあいの中で、夫の介護の経験が少しでもお役に立てたらと思っております。

光貞台地区福祉協力員

馬場 兼熙



私の福祉協力員としてのスタートは、昨年の暮れ、或る宴席で誘いを頂き酒の勢いもあり、軽いノリで引き受けたのがスタートです。決して福祉活動に興味や、強い熱意があるものではありませんでした。

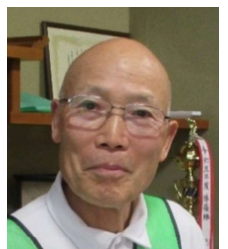
活動を始めて六カ月となります。高齢者世帯への訪問、対話を繰り返すうちお互いに信頼感が生まれ、訪問を待ちわび、笑顔で迎えられる、なんでも話して下さるようになりました。今更ながら、高齢者との対話を通じ福祉活動の意義を教えられたようで、協力員を引き受けて良かったと実感しています。

私は町内会活動も続けています。光貞台団地も五〇年近くを迎え、高齢世帯が増加し、福祉の輪の広がりが益々必要となっております。

高齢者にとって、日々の暮らしでの困りごとや、行く末への不安等、八歳となった私にも十分に共有できます。幸い、私は今のところ元気で日々の暮らしで困ることはありません。微力ではありますが、皆さんと一緒に福祉の輪を広げて行けたらと決意しています。

光貞台地区福祉協力員

深田 紘



福祉協力員としての役割をまだよく理解していませんが、光貞台でも高齢世帯、高齢一人暮らし世帯が増えています。

隣近所との付き合いの大切さは理解できるものの、私自身、今までは、独居も・引きこもり（外出しない）も、何ら不安を感じていませんでした。

訪問や電話しても「そっとしておいてくれ」という気持ちはよく理解できます。ただ、私自身も年齢を重ねてくると、流石に、いつまでも一人で大丈夫ではありません。

福祉協力員の活動を通して、（私自身も含めて）自分の不安や困りごとをもう少しオープンに言え、隣近所の助けが求められるよう、皆さんと一緒に取り組みたいと思います。

編集後記

暑さ厳しき折、皆様いかがお過ごしでしょうか。「広報みつさだ第二〇号」をお届けします。

今年の夏も「過去最高の暑さ」を更新するようです。いつの間にかそれに慣れてしまつて自分がないように、「いつものこと」ではなく、「異常なこと」だと忘れないようにしたいと思います。猛暑はまだまだ続くようです。皆様くれぐれもお体に気を付けてお過ごしください。

(下野 康子)

お願い

社協の運営は皆様の善意に支えられています。篤志寄付・御祝・香典返し寄付等、光貞市民センター（電話〇九三六九二九四九六）で受け付けております。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

